

江戸の暦と四季折々の暮らし

2018年 1月6日(土) ~ 2月25日(日)

歌川国貞 (三代豊国) 暦中段つくし 意勢固世身見立十二直



睦月松飾

梅見月はつ午

弥生之花見

卯月の日永

皐月初織

水無月夕立



文月の晒井

中秋の明月

菊月の神明祭

神無月夷講

霜月顔見世

極月の餅搗

江戸の人々が使っていた『暦』と日々の暮らしを、四季折々の浮世絵で紹介します

- ◆ 開室時間 9:00~19:00 (火曜日、祝日は17:00まで)
- ◆ 休室日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、1月26日(金)、2月23日(金)
- ◆ 会場 秦野市立図書館はだの浮世絵ギャラリー

【住所】〒257-0015 秦野市平沢 94-1 (カルチャーパーク内)

【TEL】0463-81-7012

【交通】小田急線秦野駅北口バス3番のりば・・・「文化会館前」下車

小田急線渋沢駅北口バス1番のりば・・・「文化会館前」下車

- ◆ 主催 秦野市 ◆ 問い合わせ 生涯学習文化振興課 (TEL0463-84-2792)

入場
無料

はだの浮世絵ギャラリー

江戸の暦と四季折々の暮らし

2018年1月6日(土)~2月25日(日)

展示目録

	題名	作者名	制作年代
1	歳旦摺物絵暦	葛飾北斎	文化2年 (1805年)
2	七福神の獅子舞	葛飾北斎	文化後期 (1804~1818年)
3	風流わかな摘	歌川国貞 (三代豊国)	文久3年10月 (1863年)
4	当世はうた合 (梅がぬしなら…)	歌川国貞 (三代豊国)	安政6年12月 (1859年)
5	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 閉 睦月松飾	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
6	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 納 梅見月はつ午	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
7	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 平 弥生之花見	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
8	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 成 卯月の日永	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
9	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 建 皐月初幟	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
10	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 危 水無月夕立	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
11	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 除 文月の晒井	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
12	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 満 中秋の明月	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
13	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 閉 菊月の神明祭	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
14	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 破 神無月夷講	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
15	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 定 霜月顔見世	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
16	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 取 極月の餅搗	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永期 (1848年~)
17	見立十二ヶ月の中 三月 五人雑子	歌川国貞 (三代豊国)	嘉永5年9月 (1852年)
18	扇合隅田川八景 隅田堤の桜	歌川国貞 (三代豊国)	弘化期 (1844年~)
19	当世源氏楼遊覧	歌川国貞 (三代豊国)	安政6年10月 (1859年)
20	十二月ノ内 卯月 初時鳥	歌川国貞 (三代豊国)	安政元年6月 (1854年)
21	十二月ノ内 皐月 生花会	歌川国貞 (三代豊国)	安政元年6月 (1854年)
22	江戸自慢三十六興 両こく大花火	歌川国貞 (三代豊国) 二代歌川広重	元治元年7月 (1864年)
23	七伊呂波拾遺 七 七夕 杉酒の段	歌川国貞 (三代豊国)	安政3年8月 (1856年)
24	当世美人揃 ほんをとりの景色	菊川英山	文化10年頃 (1813年)
25	当盛見立三十六花撰 河原撫子 八重垣紋三	歌川国貞 (三代豊国)	文久2年2月 (1862年)
26	三題新見立絵合 河原崎権十郎の佐野源左衛門	歌川国貞 (三代豊国)	文久3年7月 (1863年)
27	暦中段つくし 意勢固世身見立十二直 閉 菊月の神明祭	歌川国貞 (三代豊国)	明治期 (1868年~)
28	源氏十二ヶ月之内 孟冬	歌川国貞 (三代豊国)	安政5年2月 (1858年)